

『サクラスケッチ』 作…岩本憲嗣

■登場人物

原田春樹（はらだはるき・19歳／9歳・美大生／小学生）

吉本ツネ（よしもとつね・70歳／80歳・アパートの大家）

吉本恒二（よしもとこうじ・75歳・洋画家）

原田遙（はらだはるか・45歳／35歳・春樹の母）

小太郎（こたろう・1歳・遙の飼う柴犬）

○桜並木

大学へと続く桜並木。桜は満開である。原田春樹（19）がスケッチブックを片手に歩いていく。並木道には犬を散歩させる人も多くいる。しかし春樹が彼らとすれ違うたびに、どの犬も物凄い勢いで春樹に吠えはじめる。

春樹のM 柴犬、ハスキー、シェットランドシープドッグ、コーギー、果てはチワワにトイプードルに至るまで。僕はやたらと犬に吠えられる。余程お犬様の勘に触るような顔立ちをしているのか、変な臭いでも出しているのか。理由はわからない。

○大学の校門

春樹が歩いてくる。門には『西東京美術大学』とある。

春樹のM でもきつと……そう、ツネさんならこういうに決っている。「そりゃあんだ、前世からの因果だから仕方ないってもんだよ」

春樹、大学の構内に入っていく。

○10年前・ツネのアパート・概観（朝）

田園の中に建つ小さなアパート。2階から子供時代の春樹（9）が駆け下りてくる。

春樹のM ツネさんとは僕が昔住んでいたアパートの大家さんのことだ。

春樹（子）は一目散に離れにある小さなプレハブに駆け込んでいく。

○10年前・プレハブ・中。

画材があちらこちらに転がっている。恒二（75）がキャンパスに向かい油絵を描いている。その脇に腰掛けてそれを眺めている春樹（子）そこにツネ（70）がずかずかと入ってくる。

ツネ なんだいアンタ。今日もこんな所に籠ってるつもりかい!?

春樹（子） あ、ツネさん。

ツネ お母さんは今日も帰り遅いのかい？お昼は食べたかい？おなか空いてんだろ？

春樹（子） まだ朝ご飯食べたばっかだよ。

ツネ 子供なんていくら食べたってかまやしないんだよ。ほらご飯と一緒に食べるよ。アンタも。

恒二 いや、まだいいよ。

ツネ そうかい。じゃあ行くよ。

ツネ、春樹（子）の手を無理やり引っ張って連れて行く。尚も黙々と絵を描き続ける恒二。

春樹のM 僕の家は母子家庭だった。だから母が家にいることは少なく。そんな僕の遊び相手になってくれたのがツネさん夫婦だった。旦那さんは著名な洋画家で、普段もずっとアトリエに籠っているような静かで温和な人だった。しかしツネさんはそれとは対照的だった。

○10年前・ツネのアパート・台所。

春樹（子）の目の前にはいくつもの大皿料理が並べられている。

ツネ ほら。チンタラしてないでさっさとお食べ。

春樹（子） こんなに……。

ツネ 沢山食べて沢山遊んで沢山寝る。それがガキんちよの仕事だよ。ほら、早くしないとあたしが全部食っちゃまうよ。いただきます！

ツネが黙々と料理を食べ始める。春樹（子）も箸を進める。ツネ、それをみて満足そうな笑顔。

× × ×

満腹のあまりぐったりしている春樹（子）ツネが皿に残った最後の料理を平らげる。するとすぐさま春樹（子）の腕を引っ張り起こす。

ツネ　　ったく、あんなに残してだらしないね。

春樹（子）　だって……。

ツネ　　だってじゃないよ。ほら、食べてすぐに寝ると牛になっちまうよ。運動だ。散歩に行くよ。

春樹（子）　え？え、ちよつと……。

ツネ、春樹（子）の腕を引っ張って外に連れ出す。

○10年前・田舎道。

元気よくあるいているツネ。その後をくたくたになりながら着いて行く春樹（子）

春樹（子）　ツネさん……どこまで散歩するの？

ツネ　　そうだね、とりあえず今日は……あそこかね。

ツネが指差した先には小高い山が見える。

春樹（子）　え？……登るの？

ツネ　　違うよ。登って下るんだ。はははは。

○10年前・原田家・居間。

遙（35）が洗濯物を畳んでいる。春樹（子）玄関に駆け出す。

春樹（子）　行ってきます。

遙　　またツネさんのところ？

春樹（子）　うん。

春樹（子）玄関を駆け出す。

春樹のM　　僕は決して活発な子供ではなかった。だからツネさんの還暦過ぎとは思えないあり余るエネルギーには正直たじたじなところもあった。でも、僕はツネさん夫婦が好きだった。

○10年前・プレハブ・中

春樹（子）がやってくる。しかしそこには誰もいない。

春樹（子）　あれ……。

○10年前・ツネのアパート。

春樹(子)がやってきて。家の中をあちこし探し歩いている

春樹(子) ツネさん？おじさん？

○10年前・ツネのアパート・裏庭

春樹(子)がキョロキョロしながらやってくる。ツネと恒二が二人ベンチに腰掛けている。恒二は小さな桜の苗木をスケッチしている。それを静かに眺めているツネ。

春樹(子) いた！ツネ………さん？

ツネ ん？なんだい、あんたかい。

春樹(子) なに………してるの？

ツネ お花見だよ。いけないかい。

春樹(子) お花見？でもお花なんて……。

ツネ これから咲くんだよ。なんてったってここにはあの子が眠ってるからね。

春樹(子) 眠ってる？だれが？ここに？

ツネ 勘違いするんじゃないよ。人じゃないよ。犬だ。さくらって言うんだけどね。

春樹(子) 死んじゃったの？

ツネ ……ああ。アンタらが越してくる少し前にね。

春樹(子) そうなんだ。

ツネ 本当ね、どうしようもない駄目犬だったんだよ。臆病で意気地がなくてワガママでね。いつだつてクウ〜ンと鳴くばかりで吠えるって事をしらない。しょっちゅう近所の犬から吠えられてしょげててね。

春樹(子) 格好悪い。

ツネ まったくだ。飯だつてすぐに残すし散歩も大嫌いだっし……あれ？なんだい、まるでアンタみたいだね。

春樹(子) ぼ、僕は犬なんかじゃ……！

ツネ 決めた。今日からアンタはさくらだよ。アンタの前世はさくらだ。

春樹(子) ツネさん……！

ツネ 怒るんじゃないよ。そうだ、美味しい羊羹あるんだ。今切ってくるから待ってな。

ツネが去る。二人きりになる春樹(子)と恒二。

春樹(子) ねえ………僕って、その犬に似てる？

恒二 ……そうだな。

春樹(子) そんな、オジサンまで……。

恒二 さくらも春樹君もツネと私にとっては同じように大切だからな。

春樹(子) え？

恒二 さくらは子供みたいなものだったからね。

春樹(子) 犬なのに？

恒二 犬なのに。こう……おじさんみたいに歳をとると変わりがたくないのにな変わってき
てしまうんだ。明日が暗くみえてしまうんだ。でもさくらがいたら違った。弱虫で鳴いてる
だけだったのがいっちょまえに唸ったりするようになる。そういう楽しい変化があるから。
だから明日が楽しみになる。

春樹(子) 明日が……。

恒二 この小さな樹はさくらなんだ。毎年の成長を見続けていたんだ。

○現在・キャンパス内の桜の樹の下

春樹が寝転んでいる。

春樹 桜の樹……。

春樹の携帯が鳴る。画面を見てそれに出る春樹。

春樹 母さん？……もしもし？

電話口の向こうから小型犬が激しく吠える声が聞こえる。

春樹 (耳を押さえて) うわっ……またかよ……もしもし？

遥の声 もしもし春樹！？大変なのよ、ツネさんが病院抜け出したんですって！！

春樹 はぁ？

○自動車・車内。

運転をする春樹。助手席に座る遥(45)。その膝では小さな柴犬が眠っている。

春樹 母さん最後にお見舞い行ったのいつ？

遥 先月よ。そりゃ……旦那さん亡くしてからずっとあんなだったけど……そんな病院
を抜け出すなんて……。

春樹 ツネさんってそんなに悪かったの？

遥 ううん、どっちかっていうと精神的に参ってる方が大きいみたいよ。

柴犬が目を覚ます。すると物凄い勢いで春樹に対して吠え出す。

春樹 またかよ。小太郎だっけ？それはいつになったら俺を認識するわけ？

遥 仕方ないじゃない、あなたが家を出てくから悪いのよ。一人じゃ寂しいんだから。

春樹 ……………。

遥 何？どうしたの？

春樹 いや、なんでも…………。

遥 あ、春樹！車止めて！！

春樹 何？ツネさんいた？

遥 ううん。小太郎…………出しちゃいそう。

春樹 はあ？レンタカーなんだよ、勘弁してよ！！

車を路肩に止める。小太郎に用を足させる遥。春樹、外にでて大きく伸びをする。すると風がふきつけ、それののってきた桜の花弁が春樹の顔につく。

春樹 ん？…………桜……………そうか。母さん、行くよ。

遥 ちよつと、まだ小太郎途中だつて！！

○ツネのアパート

春樹の運転する車がやってきて止まる。

○ツネのアパート・裏庭。

春樹、遥、小太郎がやってくる。春樹の手にはスケッチブック。

春樹 やっぱり。

春樹の視線の先にはツネがベンチに座ってすっかり大きくなり満開に咲いた桜の樹をじっとみつめている。

遥 ……本当だ。

春樹 ツネさ…………。

春樹が声をかけようとすると小太郎が物凄い勢いで駆け寄り桜の樹に吠え出す。

ツネ、それを見て春樹と遥に気づく。無表情だった顔がほころぶ。大きく二人を手招きすると自分の足元を指差す。そこには莫座の上に食べきれない程の大皿料理が沢山並べられている。

春樹、スケッチブックを開きツネの元に歩み寄る。

【終】

※ご利用上の注意※

- ・本脚本はどなたでも無料にてご利用いただけます。
- ・ご利用に当たつての改変などに制限は設けておりません。皆様のご都合に応じて自由に改変頂いてかまいません。
- ・本脚本をご利用頂く際は必ず作者 (gumba1227@hotmail.com) までメール報頂けますようお願い致します。
- ・但し、練習での使用などの場合はご連絡の必要はございません。
- ・連絡が必要かどうかの基準は以下の通りでございます。

※連絡不要の場合

- ・仲間内で集まつての練習でのご利用。
- ・Skype などを介しての第三者の聴取・視聴が出来ない形でのご利用。

※連絡が必要となる場合

- ・ツイキャスやニコ生など第三者の聴取・視聴が可能な状況下でのご利用。
- ・連絡を要する形でのご利用の際は、必ず作品名・作者名をどちらかに記載いただけますようお願い致します。

その他ご不明な点ございましたらお気軽に下記までご連絡下さい。

gumba1227@hotmail.com (岩本)